

第8回砺波市立学校規模適正化検討委員会 議事録

1 開催日時 令和7年3月21日（金）午前10時30分～午前11時00分

2 開催場所 砺波市役所 3階 小ホール

3 出席委員の氏名（50音順 敬称略）

朝倉 耕三、飯田 大輔、今井 潔、小幡 和彦、堅田 雄志、加藤 雅美、近藤 恵美子、
坂本 拳弥、笹田 茂樹、柴垣 慎哉、杉森 智和、竹山 美紀、林 千代、廣瀬 敬一、
堀田 隆、前田 幸雄

4 事務局の氏名

白江 勉（教育長）、安地 亮（事務局長）、幡谷 優（教育総務課長）、
水木 靖（教育総務課主幹）、平田 裕司（教育総務課主幹）

5 委員会次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - （1） 庄西中学校区学校規模適正化等に関するアンケート結果について
 - （2） 答申書（案）について
- 4 その他
- 5 閉会

6 委員会の要旨

委員長

<委員長あいさつ>

本日もお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日の会議は、庄西中学校区で実施しましたアンケート結果についても見ながら、
答申書（案）の内容について検討したいと思いますので、進行にご協力をよろしく
お願いします。

委員長

それでは、規定に従いまして私の方で議事を進めさせていただきます。

議事（1）の「庄西中学校区学校規模適正化等に関するアンケート結果について」
事務局から説明願います。

事務局

<議事（1）庄西中学校区学校規模適正化等に関するアンケート結果について 説
明>

委員長

事務局から議事（1）庄西中学校区学校規模適正化等に関するアンケート結果に
ついての説明がありました。

このアンケート結果から答申書（案）について追記するような事項などがありま
すでしょうか。また、ご意見・ご質問等ありましたらお聞かせ願います。

委員

歴史的経緯からすると、庄川が伝統を重んじる町だったということもあり、統合
する必要があるのかというご意見がかなりみられます。また、統合するとしても、
中学3年生の生徒は受験生であるため、受験に悪影響が出る懸念もあります。勉強
以外の人間関係にリソースをさかれ、受験結果が学校再編によって左右されたとい
う心残りを出さないためにも、3年生には特別の配慮が必要だと思います。大人で
もこのようなアンケート結果が出ているため、子供だと余計に人間関係の混乱が出

てくるのではないかと思います。

委員長 3年生のときに突然、再編の話になるわけではなくて、見通しをもって進めていくとは思いますが、今ほどのことについて、事務局はいかがでしょうか。

事務局 3ページ目のエ「今後検討すべき事項」の(エ)「再編時期にあたる児童・生徒への配慮について」に、「事前に学校間交流などを実施し、可能な限り生徒の不安を解消する。」という文言を入れさせていただいております。生徒間の交流を深めながら再編を行いたいと考えております。

委員長 他にいかがでしょうか。

委員 庄東地区の方でも独自のアンケートを行ってきました。そこで感じたのは、アンケート対象者間でも持っている情報の量に隔たりがあることです。答申書(案)にも開校準備組織の設置とありますが、各地区によって情報の差が生じて、その調整に時間を費やすことがないように、早い段階で開校準備組織を設置しておくことが必要ではないかと思います。

委員長 おっしゃるとおりで、議論し合う場・情報を提供する場というのを確保していかないと、情報に差が出てきて、その差があることについて意見が分かれていくということがあります。

事務局 今ほどのことについて、事務局はいかがでしょうか。

事務局 ご指摘のとおり、早期に情報を開示し、広く周知する必要があると考えております。

委員長 他にいかがでしょうか。

アンケート結果にありました、通学に関する懸念や、校舎の場所については、今までの議論の中で答申書(案)に盛り込んできた内容と同じであると思います。統合についてのアンケート結果も、他の地区とも同様の傾向であります。賛成する方が多いことから、答申書(案)の内容自体もそんなに大きく変える必要も無いように思われます。よろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 今ほどの皆さまのご意見も踏まえますと、答申書(案)に追記するような内容も無いように思われます。しかし、3校統合ということから、庄西中学校区の保護者の方からのご意見を踏まえたかたちでの答申書(案)といたしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 それでは次に、議事(2)の「答申書(案)について」に移ります。事務局から説明願います。

事務局 <議事(2) 答申書(案)について 説明>

委員長 事務局から議事(2) 答申書(案)についての説明がありました。

前回の会議の修正や、その後に出了た訂正などを色を分けて記載されております。特徴的なものが、3ページ(ウ)に児童という言葉が入っており、小学校の児童に対しても学校再編について周知していく内容となっております。これは懸念される子供たちへの配慮に対して、的を得た修正となっていると思います。

議事(2) 答申書(案)について、ご意見・ご質問等ありましたらお聞かせ願います。

委員 異議なし

委員長 特にご意見等ございませんでしたので、答申書(案)はこれで答申書を作成するという方針で行きたいと考えております。

では、以上で本日予定しておりました議事については終了いたしました。委員の皆さまにおかれましては、約2年間に渡って中学校の適正規模について議論いただきありがとうございます。今後、答申書を教育委員会に提出することとなります

が、児童・生徒がよりよい教育環境の中で、豊かで多様な個性が育まれられますよう進めていただきたいと思います。これからの動向についても私たちは見守っていく責任があると思いますので、その際はよろしくお願いいたします。皆さま方、本当にありがとうございました。事務局の方にマイクをお返しいたします。

事務局

笹田委員長、ありがとうございました。

答申書の提出については、庄西中学校の校区の皆さまからアンケート結果について議論いただき、事務局が説明に伺うこととしております。その後に提出する日程について調整させていただきます。

最後に教育長より閉会のあいさつをいたします。

教育長

<閉会あいさつ>

笹田委員長をはじめ委員の皆さまには8回に渡って熱心に審議いただき、本当にありがとうございました。それぞれの立場で情報収集、あるいは周知に務めていただきましたことにも重ねてお礼を申し上げます。

児童・生徒はもちろん、保護者の皆さま、そして地域の皆さまに対しても、生じる不安をいかに払拭していくかと考え、これから教育委員会としても進めていきたいと思っております。

本日は誠にありがとうございました。

事務局

以上をもちまして「第8回 砺波市立学校規模適正化検討委員会」を終了いたします。